

令和3年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和3年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象:保護者(施設アンケート結果104世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果42名事務・用務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価(○成果 ▲課題)			
		コメント:(訪問日)11/19(評価者)学校評価委員7名	3段階評価	今後の取り組むべき課題	
I	教育・保育目標について	教育・保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標の設定となっていますか。	○地域の特色を活かし、子供をより良く育てる目標となっている。 ○周りに自然がある環境で、子供達が生き生きと成長できるような目標が立てられていると思います。 ○設定された目標が、保護者の目の届くところに掲示されていて良い。 ○②は、立地条件をふまえた行事や日頃の園生活となっている。③は全ての願いを叶えるのは困難だが、できる範囲での努力を感じました。 ▲少しでも多くの保護者が、園の目標を理解し共感してほしい。	A 86%	職員一人一人が、保育目標の深い理解と、保護者への説明責任を果たせるよう努める。 これまで同様、保護者に向けた入園希望見学会や入園面談に加え、園だよりを通じたメッセージで、より共有化が図れるように工夫する。
		目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		B 14%	
		目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		C 0%	
II	教育・保育に対する指導について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成していますか。	○素晴らしい環境構成をしながら、様々な活動に取り組んでいることが評価できる。 ○5歳児の実践発表で子供の思いを大切にしながら活動が行われていると感じました。	A 100%	園内研修テーマに沿った取り組みが、教育・保育の現場で子供達の姿として現れ、評価をいただきました。園内研修を継続し、研修の手法も学びながら指導に反映して参ります。
		環境の構成を意識した教育・保育・指導の方法や過程を常に工夫していますか。	○子供達の成長に合わせた保育活動がされており、使用されている教材も子供達に危険が及ばないように考えられていると思います。 ○子供達が片付けされる環境が出来ている。	B 0%	
		教材・教具を適切に活用していますか。	○今回は、かせ組の活動報告でしたが、使いやすさを考慮した見やすさなどを工夫しており、また、子供らの主体性や主張をサポートする形で指導している点が、良いと感じました。	C 0%	
III	行事について	行事の種類や実施回数は適切ですか。		A 86%	新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなかで、現場は感染防止対策に取り組みながら教育・保育を継続しています。今後も、施設全体で行う行事については、年齢による子供の育ちや発達に必要な内容や環境を考慮し、周囲の状況により感染拡大防止、感染しないことを最優先に検討して参ります。
		行事のねらいを計画や実施に十分生かしていますか。	○コロナ禍において制限はあるが、適切に実施されている。 ○コロナ禍という難しい状況の中、最適な実施の仕方を見て行事を開催されており、とても努力されていると思います。 ○一年間の行事を一覧で出されていて分かりやすい、 ▲コロナ禍で行事を行うことは大変と思いますが、開催場所や仕方を工夫して実施して頂きたいと思います。 ▲子供らの安全第一に考えればやむを得ないと思うが、ただ、コロナ発生状況からの中止の判断が早すぎる一面もある。	B 14%	
		保護者の願いや意見を取り入れていますか。		C 0%	
IV	体制・学級経営・保健安全指導について	職務内容が明確で、協働できる体制になっていますか。		A	毎月行われる避難訓練を通し、実践の振り返り、評価反省に基づいた、改善に努めて参ります。また、危機管理マニュアルの再確認と、不測の事態を想定した訓練も実施していきます。 施設設備については、安全対策に対する対応を強化して参ります。
		職員の配置は適材・適所ですか。	○良好に行っている。 コロナ禍においても工夫・配慮をしっかりと行いながら実施している。職員のしっかりとした支援のもと、子供達はのびのびと育っている。	71%	
		同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実を図っていますか。	○フリーの保育教諭が数名おり、活動内容で必要なクラスに入っているそうです。担任以外の教諭が入ることで、一人一人の子供に目が行き届くと思われま。	B 29%	
		学年・学級経営に生かされるような具体的保健対策を講じていますか。	○子供達の成長に合わせて、適切に職員を配置されていると思います。保健指導も丁寧にされており、今後も継続されることを期待したいです。		
		避難訓練・交通安全指導、計画に基づいて適切に実施されていますか。	○避難訓練や交通安全指導等、先生方が教えて下さることで家庭でも出来るが増えたり、本人の自信に繋がっていると思う。 ▲現状特に問題ないと思いますが、協議の際にも意見があったように不審者の侵入等についての避難訓練は、内容を検討された上で実施をお願いしたいと思います。	C	
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っていますか。 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っていますか。		0%	

令和3年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和3年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果104世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果42名事務・用務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

V	情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報情報を適切に取り扱っていますか。	<p>○掲示板等を効果的に使用し、保護者に園の教育方針や幼児の生活の様子等を伝えている。</p> <p>○個人情報の取り扱いについては、とても慎重にされていると思います。玄関の写真の掲示に保育のねらいも書かれているのがとても良いと思いました。</p> <p>▲掲示板の文字の大きさなど、インパクトのある掲示にする伝わりやすいと思います。</p> <p>▲遊具・用具・教材等、現状施設の中で良く工夫されているが、イスなどがうまく納まると良い。また、掲示板や場所等において、丁寧にお知らせしているが、保護者の認知をもう少し深めたい。</p> <p>▲園庭の遊具が少ない。もう少し体と頭を使う遊具があれば良いと思いました。掲示板は、親も送迎時の動線上にあれば、見落としも少ないと思う。</p>	A	今年度園庭整備については、遊具の入れ替えを実施しました。掲示板や教材等、施設環境の更なる改善に努めて参ります。
		71%			
	遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管していますか。	29%			
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用していますか。	0%			
VI	家庭・地域社会との連携について	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流していますか。	<p>○制限はあるが、中でもしっかり行っている。</p> <p>○様々な行事で周辺地域との交流がされており、十分な連携が取られていると思います。</p> <p>○コロナの中地域活動も定期的に行われており、子供達も楽しみにしているので可能な限り行ってほしい。</p> <p>○高齢者施設への関わりは、子供らと利用者の双方によい刺激になると思う。また、警察、消防車など子供の夢となるような物との関わりで、交通ルールなどを学べると影響力も大きいと思う。</p>	A	コロナ禍の中ではありませんが、高齢者施設や地域の関係機関と可能な範囲での交流を進めることができました。今後も、教育・保育目標に則り内容を検討しながら、活動の場を作っていきたいと考えます。
		100%			
	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れていますか。	0%			
		0%			

今年度は、昨年度から引き続いているコロナ禍の影響を受けながらも、感染症対策・対応等を行い子供達の育ちや発達を考慮して、こども園でも様々な経験や諸活動が出来るよう取り組んでまいりました。結果として『教育・保育目標および行事について』は、ご意見をいただいた事をふまえ、今以上に施設の教育・保育目標と共に保育実践を利用者へ理解、共感していただけるような工夫と配慮に努めています。また、『体制や学級経営・保健安全指導について』は昨年度より評価は向上いたしましたが、昨今の世情(ニュース等)を考え、特に不審者・防犯対策において、人的備えだけでは無く設備面での改善や強化に努めてまいります。

コロナ禍終息への見通しや対応が未だ明確でない社会状況ではありますが、施設として取り組むべき課題を全職員で共有化し、継続的に評価・反省をしながら教育・保育の質を維持、向上できるように励んでまいります。

あおぞら幼保連携型認定こども園 園長 上村 清吾